

## 「課題名：救急・集中治療領域において薬剤師が回診に参加することの効果の検討」

### ○ 研究の意義・目的

医師が薬物療法の方針決定や様々な意思決定をおこなう回診に薬剤師が参加することで、薬剤師の薬学的介入件数や内容がどのように変化するか、および医師などの医療スタッフにどのような影響があるか検証することを目的とします。薬剤師が回診に参加する有用性を示すことができれば、救急・集中治療領域におけるチーム医療への薬剤師参画等臨床現場での薬剤師の活動の幅が広がり、より安全・効果的な薬物療法につながると思われます。

### ○ 研究対象者

- ・2020年8月1日から2021年3月31日までに、広島大学病院救命病棟・ICUに入室し、薬剤師が介入した患者さん。
- ・2020年8月1日から2021年3月31日に救命病棟・ICUに勤務していた医療スタッフ

### ○ 研究方法

回診開始前（2020年8月～2020年11月）、開始後（2020年12月～2021年3月）における、プレアボイド件数、プレアボイドの内容（薬剤の種類、介入内容）、相談件数、インシデント件数、薬剤投与日数（抗生剤等）、死亡率、ICU滞在日数等を調査します。（個人が特定出来る情報は転記しません）

また他の医療スタッフに薬剤師が介入に参加したことの影響について無記名のアンケート調査をおこないます。

### ○ 研究期間 倫理委員会承認後～2023年12月31日

### ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

- \* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授・松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 吉川 博（担当者）